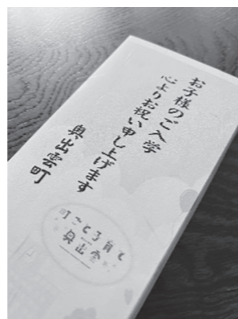


「奥出雲まちごと子育て応援金」贈呈

4月11日に町内小学校の入学式が執り行われ、町から保護者へ「奥出雲まちごと子育て応援金」を贈呈しました。



今年度の新一年生は75名。年々減少する入学者数に歯止めをかけるため、少子化対策と子育て世帯の経済的負担軽減策として、お子様誕生時の出産応援金10万円分の商品券の贈呈に加え、小学校入学時に10万円分の商品券を贈呈することになりました。



保護者からは「子どものために有効に使いたいですね」

「せっかくいただいたので記念に残るものがないかな、と考えています。」等の声が届いています。

また、移住を考えている子育て世帯からは「小学校入学までには移住できればと思っています」等の声も聞きました。

※対象児童は、町内に住所を有し、町内の小学校又は特別支援学校等に入学する新1年生児童です。

なぜ「商品券？」

町内には子育て世帯を応援してくれる事業所がたくさんあります。間接的ですが、町内の事業所への応援の意味も込めて「町内の事業所で使用できる商品券」としています。



「この商品券って誰のデザイン？」

平成26年から令和4年3月まで子育て世帯応援政策の一つとして「出産祝い金事業」を行ってきました。

このデザインは、公募から選ばれた島根デザイン専門学校の学生さんの作品です。町内には、様々な形で「協力者」がいることを大切に受け止めながら「出産祝い金事業」から「奥出雲まちごと子育て応援金」へ引き継ぎ活用させていただくこととなりました。

町、地域の学校、各事業所、地元住民の皆様のご協力のもと「子育てするなら奥出雲！」と感じてもらえるような地域にしていきますので、ご協力のほどお願いいたします。

困ったときには連絡を！

- 【妊娠から子育て全般の相談窓口】 こども家庭支援課 有線:31-5165 電話:54-2504
- 【結婚～妊娠】 結婚子育てコンシェルジュが相談に乗ります。町民課 有線:31-5107 電話:54-2510
- 【妊婦検診費用助成等妊娠にかかわること】 健康福祉課 有線:31-5165 電話:54-2511
- 【病児保育にかかわること】 病児保育施設「ほっとすてい」 有線:31-0017 電話:54-0017
- 【子育て支援センター(保育・一時保育・子育てパパ・ママの教室・ファミリーサポートに関すること・放課後児童クラブ等に関すること)】
- ☆仁多子育て支援センター 有線:32-0200 電話:54-0200
- ☆よこた子育て支援センター(鳥上幼稚園) 有線:20-2296 電話:52-2296



初回産科受診料助成事業 ^{NEW}
非課税世帯の妊産婦の妊娠判定のための産科受診料を助成。

奥出雲まちごと子育て応援金 ^{NEW}
お子様の誕生時と小学校入学時に、町内で使用できる10万円分の商品券を支給。

出産・子育て応援交付金
妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入負担や子育て支援サービスの利用負担の軽減のためそれぞれ5万円を支給。

保育料の無償化と副食費の助成
町内保育所の保育料・副食費（おかずやおやつ）が無料。

病児保育施設「ほっとすてい」
お子さんが病気にかかっていたり、回復期にあって安静にする必要があるときなど、幼稚園や小学校へ預けることが出来ず、保護者が仕事等の理由で保育ができない場合に利用可能。

ファミリーサポート事業
地域内で「お願い会員」「まかせて会員」として、児童の送迎などお互いが助け合う会員組織です。

子育て短期支援事業(児童相談事業) ^{NEW}
精神的・経済的理由により児童を養育することが困難な場合に、里親に委託し一定期間の養育・保護をお願いすることができます。

出生数に歯止めがかからない中、町では、「子育てが安心してできるまち奥出雲」を目指し、妊娠期からの切れ目ない様々な子育て支援を行っています。今回は、町が行う子育て施策をご紹介します。

産後ケア事業
産後のお母さんの心と体のケアを奥出雲病院で実施します。

産前・産後訪問サポート事業 ^{NEW}
助産婦や保健師が妊娠・出産・子育てに関する相談の支援を行います。また、一時的に家事や育児の援助が必要な家庭のサポートをします。

児童手当
中学校卒業まで（15歳の誕生日後の最初の3月31日まで）の児童を養育している方へ手当を支給。

放課後児童クラブ
小学校下校後や学校の休業日に遊びや生活の場を提供します。土曜日や夏休みも利用可能です。

乳幼児・児童生徒等医療費助成事業
町内に住所を有する18歳までのお子様の医療費が無料。